

解熱鎮痛剤の分析

Analysis of Antipyretic analgesics

解熱鎮痛剤には、解熱鎮痛作用を持つ非ステロイド抗炎症薬 (NSAID) やサリチル酸誘導体、アニリン誘導体などの化合物があり、総合感冒薬に含まれています。

本分析では、サリチル酸誘導体であるアセチルサリチル酸、エテンザミド、ピラゾロン誘導体であるアンチピリン、アニリン誘導体であるアセトアミノフェン、非ステロイド抗炎症薬であるメピリゾールの 5 種の一斉分析を行いました。L-column2 ODS を用いるとどのピークもテーリングすることなく、シャープなピークが得られています。

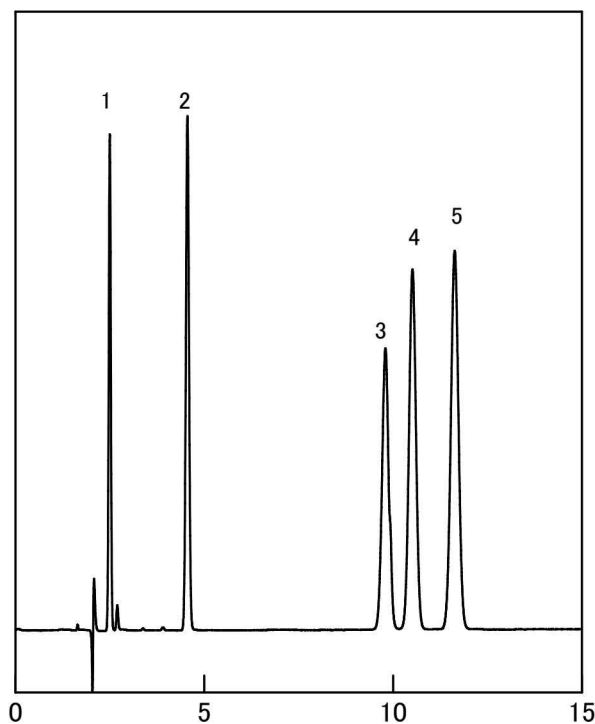
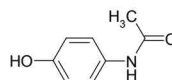
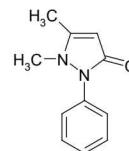


Fig. Chromatogram of Antipyretic analgesics.

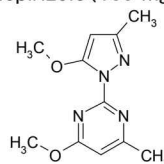
1. Acetaminophen (50 mg/L)



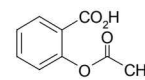
2. Antipyrine (50 mg/L)



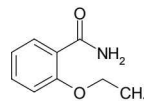
3. Mepirizole (100 mg/L)



4. Acetylsalicylic acid (100 mg/L)



5. Ethenzamide (100 mg/L)



(in CH₃CN)

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS** (C18, 5 μ m, 12 nm) 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.
Mobile phase: CH₃CN/20 mM H₃PO₄ (20/80)

Flow rate: 1 mL/min
Temperature: 25°C
Detection: UV 220 nm
Injection volume: 1 μ L
System: -